

## 表記について

- 1 本文は、「だ」「である」などの常体を用い、横書きにする。
- 2 文章においては、できるだけ専門用語を避け、校種や専門教科が違っていても理解できるよう、平易な言葉を使用する。
- 3 漢字や仮名遣いについては、「常用漢字」「現代仮名遣い」を基本とし、外来語や外国の人名・地名等には片仮名を使用する。本文中における漢字表記と仮名表記の不一致は避ける。
- 4 句点は「。」 読点は「、」を使用する。
- 5 「1年生」「3学期」「6組」など順番や表示を表すものは算用数字、「一つ」「一人」など熟語として用いられるものは漢数字を使用する。
- 6 「常用漢字表」にない漢字については、ふりがなを付けて用いることを基本とする。  
ただし、日常よく使われるものについては、ルビを振らない場合もある。

### 【表記の具体例】

あいさつ → 挨拶

…にあたって → …に当たって

あたりまえ → 当たり前

あとで → 後で

在り方 → 在り方

あるいは → あるいは（×或いは）

…ということ → …ということ

（×…と言うこと）

裏付ける → 裏付ける

…していく → …していく

（×…して行く）

いくつか → 幾つか

いっそう → 一層

いろいろ → いろいろ

いわば → いわば

うながす → 促す

おおいに → 大いに

おこなう → 行う

おとな → 大人

おもしろい → おもしろい

および → 及び（接続詞）

…におよぶ → …に及ぶ

かかわる → 関わる

3か月、2かしょ → 3か月、2か所

きたる5月13日 → 来る5月13日

きづく → 気付く

…ください → ください

（○…資料を下さい）

こころがける → 心掛ける

ことば → 言葉

こども → 子供

こどもたち → 子供たち

1時間ごと → 1時間ごと（×1時間毎）

…ころ → …頃

computer → コンピュータ

（×コンピューター）

さまざま → 様々

さらに → 更に（副詞の場合）

さらに（接続詞の場合）

じゅうぶん → 十分（×充分）